調査は，年３回実施し自分を広く，深くみつめさせようとした。そのために，親と教師と児童の調査項目を共通にし，その結果を児童にも示して自分をみつめる際の資料とさせた。

【児童用】　この調査は，みなさんをもっとよく理解するために，みなさんの考えを書いてもらうものです。それぞれの項目の中で自分に合う文章ア・イ・ウ・エ・オのひとつに，○をつけなさい。26番までつけたら，最後に「自分らしさ」が最も表れていると思われる５つの項目を選び，番号に○をつけなさい。

F　小学校　５年１組　32番　児童氏名　　K子

（　）ア　とてもだいたんなほうである。
（○）イ　どちらかといえば，だいたんなほうである。
①　私は，（　）ウ　だいたんともひかえめともいえない。
（　）エ　どちらかといえば，ひかえめなほうである。
（　）オ　とてもひかえめなほうである。

【教師用】　この調査は，先生の学級の児童一人一人をもっとよく理解するために，先生の考えを書いてもらうものです。それぞれの項目の中で児童に合う文章ア・イ・ウ・エ・オのひとつに，○をつけてください。26番までつけたら，最後に「その子らしさ」が最も表れていると思われる５項目の番号に○をつけてください。

F　小学校　５年１組　31番　児童氏名　　Y子

（　）ア　とてもだいたんなほうである。
（　）イ　どちらかといえば，だいたんなほうである。
1　○○は（　）ウ　だいたんともひかえめともいえない。
（○）エ　どちらかといえば，ひかえめなほうである。
（　）オ　とてもひかえめなほうである。

【父兄用】　これは，皆さんのお子さんの「よさ」をさらに広くとらえるための調査です。それぞれの項目ア・イ・ウ・エ・オの中で，お子さんに当てはまると思われるものひとつに，○をつけてください。26番までつけたら，最後に「お子さんらしさ」が最も表れていると思われる項目五つを選び番号に○をつけてください。

F　小学校　５年１組　23番　児童氏名　　S男

（　）ア　とてもだいたんなほうである。
（○）イ　どちらかといえば，だいたんなほうである。
1　お子さ（　）ウ　だいたんともひかえめともいえない。
んは，（　）エ　どちらかといえば，ひかえめなほうである。
（　）オ　とてもひかえめなほうである。

②　第二段階の「よさ」や「その子らしさ」の把握…児童生徒の教科・道徳における「よさ」の把握

児童生徒一人一人の各教科に対する「よさ」を把握するために，各教科，領域ごと，教材や題材に対する興味・関心やレディネスの把握，事前テスト等を行った。そのアンケートやテストの内容は，各教科の特性に基づき作成した。

道徳では，価値内容に関する「その子らしさ」をとらえ，意識させる調査をした。この調査は，授業の１～２週間前に実施し，児童に授業で取り扱う価値内容に対するそれまでの考えを整理させる意図を持つ。そのことによって，価値の内面的自覚をする際具体的に比較する視点を持たせた。同時に，価値内容に関する学級の実態を把握することができた。

③　個人カルテの作成

把握した「よさ」を「個人カルテ」に累積記録した。この「個人カルテ」は，児童生徒一人一人についての「よさ」の把握，「よさ」を生かす指導，「よさ」の意識化の各段階を通して，指導に役立てようとするものである。この「個人カルテ」は，単元の展開にそって児童生徒一人一人の活動状況や，指導の手だてとその効果などがわかるものであり，かつ内容も精選されたものであった。

(2)　「よさ」や「その子らしさ」を生かす

学習指導の場面で，教材内容と学習活動のかかわりから，事前にとらえた「よさ」を生かしながら多様な学習活動を構成した。

「よさ」を生かすためには，児童生徒一人一人の興味・関心，能力等に応じた教材，題材の選定や学習課題の設定が必要であった。そのために，学習形態についても，個別指導，グループ学習，ティームティーチング（Ｔ－Ｔ）等，児童生徒が多彩な学習活動を展開できるようにした。

①　単元構成の工夫

児童生徒の「よさ」を授業に生かすために，単元全体を通して大きな課題に取り組む単元構成が考えられた。

例えば，算数科においては，第１次実践で「宝のありかをさがそう」という大きな課題を児童に投げかけ，角度を測ったり，かいたりする必要感を高め角度の学習を展開した。このことができるようになって，再び「宝のありかをさがそう」へ挑戦させ，できた喜びを味わわせた。更に，発展学習として自分たちで問題を作りその問題をお互いに解き合うような単元構成にした。

社会科においては，課題意識の高揚を図るために，児童の日常のなにげない消費行動を見直しさせる第１次の見学を行い，見学の結果からお互いの疑問点や気づきをもとにして事象・事実の持つ意味を考えさせた。更に，見学調査の結果から共通の課題を作り，第２次の見学・調査を行い，まとめ，発表会を行った。発表会の結果から新たな課題を設定し，第３次の見学・調査を行い，最終のまとめ，発表会を行った。

体育科においては，マット運動と跳び箱運動（主運動と主運動）とを組み合わせた連続技を目標に単元指導計画を立てた。それは，それぞれの